

授業科目名	【G】	体育実技Ⅲ	区分	開講年次	【G】3	単位数	【G】1	
			その他参照					
科目区分	保健体育科目							
授業形態	対面授業							
担当形態	単 独							
施行規則に定める科目区分又は事項等								
サブタイトル	生涯スポーツ実技				担当者	酒本 夏輝		
授業概要	概要	<p>様々な種類の運動やスポーツの実践を通してその特性に触れ、スポーツの魅力や身体を動かすことの楽しさを味わう。また、そのような実践を通し、健全な「こころ」と「からだ」の獲得を促進することを体験的に理解する。各種スポーツの基礎技術の習得や、ゲームにおけるチームワークおよびリーダーシップが重要であることを認識する。生涯にわたり、日常生活の中に身体活動やスポーツを取り入れることができる心構えおよび実践能力を高める。</p>						
	到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・各種スポーツの基本的なルールを理解し、円滑にゲームを実践できる。 ・各種スポーツの基本的な技術を習得し実行できる。 ・各種スポーツの基本的な戦術・戦略を理解し、より本格的なゲームを実践できる。 ・フェアプレイとスポーツマンシップの重要性を理解し、公正な態度を獲得できる。 						
履修条件	<ul style="list-style-type: none"> ・スポーツ法コースの学生であること。 ・スポーツウェア、室内シューズを準備すること。 							
アクティブラーニングの方法	【－】	事前学習型	【－】	反転授業	【－】	調査学習	【－】	フィールドワーク
	【－】	双方向アンケート	【○】	グループワーク	【○】	対話・議論型授業	【○】	ロールプレイ
	【－】	プレゼンテーション	【－】	模擬授業	【－】	PBL	【○】	その他
ディプロマ・ポリシーとの関連性	DP(ディプロマ・ポリシー)①	－ (当てはまらない)						
	DP(ディプロマ・ポリシー)②	◎ (よく当てはまる)						
	DP(ディプロマ・ポリシー)③	◎ (よく当てはまる)						
	DP(ディプロマ・ポリシー)④	◎ (よく当てはまる)						
他科目との関連性	特になし							
教科書	特になし							
参考書	特になし							
評価方法	授業態度、スポーツマンシップの実践、授業への積極性(60%)と実技技能の上達状況(40%)から総合的に評価する。なお、授業実施回数の80%以上の出席をもって評価の対象とする。							
フィードバック方法	授業内の開始時、中間、終了時に個別または全員に適宜フィードバックを行う。							
評価基準	授業内容についてよく理解し、適切に実技実習ができた者は「S」または「A」、出席状況や授業内容の理解、実技実習に不適切な点がある者はその程度に応じて「B」または「C」とする。出席状況が不良の者および授業内容の理解や実技技能が不十分な者は「D」または「E」とする。なお、評価不能の場合には「F」とする。							

授業科目名	【G】 体育実技Ⅲ	区分	開講年次	【G】3	単位数	【G】1
		その他参照				
授業回数	授業内容					
1	体育実技の履修方法、授業概要、評価方法の確認および運動施設の安全な利用方法を学ぶ 予習： 体育館・トレーニングルームの場所と利用時間を確認する 復習： オリエンテーションの内容をまとめる					
2	バスケットボール①：基本ルールと安全管理(用具の準備、片付け及び安全管理方法) 予習： 基本ルール、安全管理(用具の準備、片付け及び安全管理方法)の理解 復習： 基本ルール、安全管理(用具の準備、片付け及び安全管理方法)の振り返り					
3	バスケットボール②：基本技術(基本姿勢、セットシュート、チェストパスの習得) 予習： 基本姿勢、セットシュート、チェストパスの理解 復習： 基本姿勢、セットシュート、チェストパスについての振り返り					
4	バスケットボール③：実践応用(バスケットボールのゲームの実践：ゲーム戦術の理解) 予習： 試合の運営、フォーメーション、ゲーム戦術についての理解 復習： 試合の運営、フォーメーション、ゲーム戦術についての振り返り					
5	バドミントン①：基本ルールと安全管理(用具の準備、片付け及び安全管理方法) 予習： 基本ルールと安全管理(用具の準備、片付け及び安全管理方法)の理解 復習： 基本ルールと安全管理(用具の準備、片付け及び安全管理方法)の振り返り					
6	バドミントン②：基本技術(グリップの握り方、スウィング方法、ラリー) 予習： 基本技術(グリップの握り方、スウィング方法、ラリー)の理解 復習： 基本技術(グリップの握り方、スウィング方法、ラリー)の振り返り					
7	バドミントン③：実践応用(ゲーム運営、ゲームにおける技術・戦術) 予習： 実践応用(ゲーム運営、ゲームにおける技術・戦術)の理解 復習： 実践応用(ゲーム運営、ゲームにおける技術・戦術)の振り返り					
8	フットサル①：基本ルールと安全管理(用具の準備、片付け及び安全管理方法) 予習： 基本ルール、安全管理(用具の準備、片付け及び安全管理方法)の理解 復習： 基本ルール、安全管理(用具の準備、片付け及び安全管理方法)の振り返り					
9	フットサル②：基本技術(基本的なボールを止める・蹴る・運ぶの習得) 予習： ボールを止める・蹴る・運ぶ技術の理解 復習： ボールを止める・蹴る・運ぶ技術の振り返り					
10	フットサル③：実践応用(フットサルのゲームの実践：ゲーム戦術の理解) 予習： 試合の運営、フォーメーション、ゲーム戦術についての理解 復習： 試合の運営、フォーメーション、ゲーム戦術についての振り返り					
11	バレーボール①：基本ルールと安全管理(用具の準備、片付け及び安全管理方法) 予習： 基本ルール、安全管理(用具の準備、片付け及び安全管理方法)の理解 復習： 基本ルール、安全管理(用具の準備、片付け及び安全管理方法)の振り返り					
12	バレーボール②：基本技術(オーバーハンドパス、アンダーハンドパス、サーブ、レシーブ) 予習： 基本技術(オーバーハンドパス、アンダーハンドパス、サーブ、レシーブ)の理解 復習： 基本技術(オーバーハンドパス、アンダーハンドパス、サーブ、レシーブ)の振り返り					
13	バレーボール③：実践応用(ゲーム運営、ゲームにおける技術・戦術) 予習： 実践応用(ゲーム運営、ゲームにおける技術・戦術)の理解 復習： 実践応用(ゲーム運営、ゲームにおける技術・戦術)の振り返り					
14	各種スポーツの実践応用①(ゲームにおける技術、作戦) 予習： 図書や映像等でプレーや動きを予習する 復習： 図書や映像等でプレーや動きを復習する					
15	各種スポーツの実践応用②(ゲーム運営、審判法) 予習： 図書や映像等でプレーや動きを予習する 復習： 図書や映像等でプレーや動きを復習する					
その他	<ul style="list-style-type: none"> ・受講マナーに反して授業を妨げる場合は即刻退場を命じ、以降の受講を認めない。 ・スポーツマンシップ・フェアプレイに反する行為が見られた場合は即刻授業を停止する。 ・受講者の興味・関心に合わせて授業内容を一部変更する場合がある。 ・授業毎の予習・復習時間は、各90分程度を目安としてください。 ※Gカリ：法【履修不可】 スポ【必修】 情【履修不可】					